

OMRC mail magazine

温泉医科学研究所 HP <http://www.onsen-msrc.com/>

メールマガジン編集担当の主席研究員:後藤康彰です。
このメールは、温泉医科学研究所のメールマガジン登録をいただいた方、
温泉入浴指導員、温泉利用指導者講習会にご参画いただいた方、アンケート、
名刺交換をいただいた皆様にお送りしております。

<目次>

- 1.【お知らせ】 第 72 回日本公衆衛生学会 in 三重(10 月 23~25 日)
後藤康彰・早坂信哉

- 2.【活動報告】 温泉医科学研究所 facebook ページを設置しました
(後藤康彰)

- 3.【活動報告】 新たに 13 人が温泉利用指導者を取得されました
(日本健康開発財団)

- 4.【コラム】 ラジウム・ラドン温泉広域連携による地域活性化
健康と温泉フォーラム 2013・阿賀野市

=====

- 1.【お知らせ】 第 72 回日本公衆衛生学会 in 三重(10 月 23~25 日)
後藤康彰・早坂信哉

=====

第 72 回日本公衆衛生学会が、今年三重県津市で開催されます。
1947 年(昭和 22 年)に設立されたこの学会は、「健康づくり」に携わる様々な領域の
専門家約 8,000 人を擁する日本における公衆衛生の最大の学会の一つです。
当研究所からは、

後藤康彰:浴槽入浴の頻度と健康関連自己評価の関連

早坂信哉:温泉施設の利用頻度と健康関連自己評価の関連

の2演題を発表します。

セッションは 10 月 23 日(水)16:00~17:00 ですので、ご興味のある方は是非ご参加ください。

開催地の三重は、先日 20 年ごとに行われる式年遷宮が神宮で執り行われたばかり。日本人にとって旅の原点は、お伊勢参りと湯治だとも言われています。個人的には、祓言葉の禊と入浴が関連してるのかなあなんて想像したり。

三重県のキャッチフレーズは美(うまし)国。アワビ、伊勢海老、安乗ふぐ、松坂牛と枚挙にいとまがありません。こちらもちろん満喫しようと思います。

ちなみに伊勢海老の解禁は 10 月 1 日で、それ以前のはニセエビと呼ぶのだとか。

第 72 回日本公衆衛生学会 HP: <http://www.c-linkage.co.jp/jsph72/>

(後藤康彰)

=====

2. 【活動報告】 温泉医科学研究所 facebook ページを設置しました

(後藤康彰)

=====

このたび facebook に、当研究所のページを設置しました。

URL: <https://www.facebook.com/OnsenMedicalScienceResearchCenter>

(閲覧には、facebook ログインが必要です)

カバー画像は悩みましたが、「地獄谷温泉に入浴する猿」にしました。

「温泉っていいよねえ」が一番わかりやすいように感じたので。

今後、メルマガで発信する情報に加え、温泉・入浴と健康関連の情報を発信予定です。

訪問温泉地や所員の雑感、指導者・指導員交流情報など気楽な内容も掲載予定ですので、忌憚のないコメント、ツッコミ等よろしく願いいたします。

(後藤康彰)

=====

3. 【活動報告】 新たに 13 人が温泉利用指導者を取得されました

(日本健康開発財団)

=====

平成 25 年 10 月 9～16 日に、第 22 回温泉入浴指導員養成講習会が開催され、新たに 13 人が温泉利用指導者を取得されました。(全修了者:418 名)。

講習内容は、厚労省の「温泉利用に関する基礎的な知識及び技術に係る講習実施要領」に基づき、朝 9:00 から遅い日は 19:30 までのかなりハードなスケジュールでした。

受講者は、温泉リゾート・旅館、温泉・温浴設備、スパ業界、運動指導者、研究者等多彩で、中国の温泉リゾート企業の方の受講もはじめてありました。

グループワークのリーダーをつとめていただいた、ペアさん、ばんざいさん、ゴルゴさんはじめ、参加者の皆さん、たいへんお疲れさまでした。

温泉利用指導者・温泉入浴指導員の交流については、21 回修了者の野田さんがつくってくださった、facebook のグループがございます。

<https://www.facebook.com/groups/208037326005974/> (facebook への登録が必要です)

また、新潟大学の協力をいただきながら、今年度オンライン・オフラインでの交流をさらに推進する予定にしています。

進捗につきましては、当メルマガ等でご報告いたします。



(後藤康彰)

=====

4.【コラム】 ラジウム・ラドン温泉広域連携による地域活性化

健康と温泉フォーラム 2013・阿賀野市

=====

9月27～28日に阿賀野市において、健康と温泉フォーラム2013・阿賀野市「ラジウム・ラドン温泉広域連携による地域活性化」

が、開催されました。

当財団からは、栗原理事長が出席し、今後の温泉地連携の在り方についてご挨拶させていただき、200人の参加者に「温泉と健康」リーフレットを配布いたしました。

パネルディスカッションでは、合田純人氏(健康と温泉フォーラム常任理事)のコーディネートで、「官民協働による温泉地活性化」が行われました。

また、全国有数のラジウム・ラドン温泉をもつ秋田県仙北市(玉川温泉)、山梨県北杜市(増富温泉)、鳥取県三朝町(三朝温泉)、鳥取県倉吉市(関金温泉)、新潟県阿賀野市(五頭温泉郷)の首長が集い、連携・協働の調印式が執り行われました。

今後の温泉地再生に向け、新たな一歩が踏み出された2日間となりました。

(後藤康彰)

※このメールは、温泉医科学研究所のホームページでメルマガ配信登録をいただいた方、温泉利用指導者・温泉入浴指導員受講者で、メルマガ配信を希望された方、名刺交換をさせていただいた方、アンケートをされた方にお送りしております。

配信がご不要な方は、お手数ですが下記URLにアクセスしていただき、「メルマガ解除」をお願い申し上げます。

解除 URL : %url/http:out:stop%

■発行: 温泉医科学研究所

<http://www.onsen-msrc.com/>

■編集: 主席研究員 後藤康彰

[mailto: ygoto@onsen-msrc.com](mailto:ygoto@onsen-msrc.com)

(c)Japan Health & Research Institute. All rights reserved